

### 東埼玉道路について



鈴木 保  
議員

東埼玉道路は、八潮市から越谷市までの側道部分が開通していますが、庄和インターチェンジまでの開通は予定が見えません。一方、圏央道の整備は平成24年度開通を目標に着々と進み、圏央道周辺地区では産業基盤の整備が推進されています。東埼玉道路の整備に伴い庄和インターチェンジ周辺地域でも産業集積に大きな期待が寄せられています。そこで、東埼玉道路整備に伴う庄和インターチェンジ周辺の下柳地区の開発について、考えを伺います。

#### ○都市整備部長

下柳地区は、総合振興計画土地利用構想において産業集積ゾーンに位置付けられ、この地区に流通施設などの企業を積極的に誘致しています。

東埼玉道路の整備は、庄和インターチェンジ周辺の開発と産業集積を促進するうえで重要なものと考えています。



産業集積ゾーンに位置付けられている下柳地区

下柳地区は道路や水路等の都市基盤整備が十分でないことから、適切に民間開発の指導を図っていく必要があります。企業立地に適したブロック単位で幹線道路整備と計画的な土地利用を図る必要があります。民間誘導方策と地域の計画的な整備に向け検討しています。

#### このほか

- 大風会館修復について
- 新築・増改築等に発生する道路中心部分から3メートル後退についての条例について
- 西金野井第二土地区画整理事業とスパー堤防の今後について

### 春日部の方言、昔ことばについて



山口 泰弘  
議員

それぞれの地域には昔から伝わるさまざまな伝統や文化があります。しかし、科学技術の発達や社会の変化の影響を受け、地域文化が失われつつあり、方言や昔ことばは忘れられつつあります。過去に編集された資料の現状と、資料を活用した方言集などの刊行について考えを伺います。

また、子どもたちに、地域文化を伝承し、これを学ぶための教育が必要と考えますが、取り組みへの見解を伺います。

#### ○社会教育部長

方言や昔ことばについては、大正期や昭和初期に編集された郷土史や、平成4年に春日部高校郷土研究部でまとめた方言集があり、最近では、郷土資料館で作成した春日部周辺における方言集があります。

#### ○教育長

郷土資料館で収集した方言集を整理し、市民の意見をいただく時間を十分にとり、方

言や昔ことばを使った春日部の昔話や伝説などを取りまとめていきたいと考えています。また、子どもたちが地域文化を学ぶことや、伝統芸能を伝承することについては、保存会など地域の方々と家庭・学校の連携の上に成り立つもので、地域の子、春日部の子を育てる大変よい機会として捉え、活動を応援し、支援をしていきたいと考えています。

#### このほか

- 都市計画道路上野長宮線について
- 市道2-23号線及び増戸地区道路整備について

### 春日部市自治基本条例について



栄 寛美  
議員

本市での本条例施行後の影響と効果について及び各条項の定義、権利など問題点について見直す必要があります。

条例第3条には、「市民とは、市内に居住し、通勤し、通学し、又は活動する個人及び団体をいいます」と定められており、非常に広い範囲を

市民として定義しています。不特定の人々を住民と同じく市民として組み込むことは、行政の運営上無理があると思えます。市民の定義を本市に住んでいない方、不特定の団体、個人、また国籍を問わない、年齢も問わない広い市民とすることで、さまざまな社会の混乱を招くおそれがあります。

そこで、条例の見直しについて考えを伺います。

#### ○総合政策部長

まちづくりは、そこに生活の本拠を持つ住民だけではなく、多くの時間を過ごす通勤通学者やその地域で活動する市民団体などへも影響を与えることから、本条例では、市に関わりを持つすべての個人及び団体を、自治の担い手としての市民と定義しています。多くの市民の多様な意見を取り入れることで、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるまちの実現につながるかと考えます。

また、本条例の見直しについては、その必要性を十分に検証し、改正などの必要な措置を講じる場合には、多様な市民参加の方法により十分に検討すべきと考えます。

## 放射能に対する 市民の不安を 解消する対策を



卯月 武彦  
議員

市内の放射線量を測定した数値は、専門家も特に問題ないとしています。しかし、低い放射線量でも影響はゼロとは言えず、低ければ低いほど安全かつ安心という放射線防護の原則から、放射線量を低くする努力が必要です。

放射性物質のたまりやすい場所や市民からの要望箇所をきめ細かく測定し、高い数値が測定された場合は除染を行う必要があります。

また、職員が測定をするのは限界があるため、簡易型測定器を購入して市民に貸し出しを行い、測定をしていただいているいかがでしょうか。

### ○秘書広報防災担当部長

市内では、数値が高いと言われる草地等を含め、国際放射線防護委員会が勧告する線量限度や、文部科学省が示す積算線量を超える線量が測定された地点はありません。今後は、子どもたちが長い時間

を過ごす施設などを加えて測定する予定です。そのため、要望に応じ自宅等を個別に測定することは考えていません。

機器の貸し出しについては、簡易型測定器が、国民生活センターのテストで低い線量を正確に測定できなかったとの報道もあり、さらに測定方法は熟知が必要との情報もあります。市内の空中放射線量は、県に加え市独自でも十分な情報を提供しており、貸し出しは考えていません。

このほか  
○高齢者の居場所づくり、生きがいづくりを



放射能測定をする職員（豊春小学校にて）

## 放射能汚染 対策について



片山い<子  
議員

本市の放射線測定では、樹木の下や建物からの雨だれの跡、側溝など、放射性物質のたまりやすいとされる場所は除外されています。

子どもたちの内部被ばくが長期的に心配されています。

子どもを持つ親は、子どもたちの体内に取り込まれることを少しでも減らすため、自分たちの手で放射性物質を取り除き飛散しないよう封じ込めていきたい。そのために、放射線量をきちんと知りたいというのが、素直で率直な願いです。きめ細かい測定について市の考えを伺います。

### ○秘書広報防災担当部長

放射線測定については、再度の測定と、これまで測定していない施設を優先したいと考えています。また実績から省略しても差し障りのない施設は、随時新しい施設に替えるなど再考していきます。近隣の封じ込め対策の状況

については、最終的な処分を含め混乱した状況のため、情報収集に努めます。

国や地方公共団体、行政の基本的な役割は、安全や安心を保障することにあると考えています。特に放射線のように見えないもの、未知のもの、影響が長期にわたるものに対する不安は、大きなものがあるということを中心に置き、市民の期待に応えるべく、職員一丸となつて努力していきます。

このほか

○電力自由化への取り組み

○選挙の投票率の向上策

**内部被ばくから、子ども市民を守るために学校給食地元農産物の安全確保を**



今尾 安徳  
議員

福島第一原子力発電所の事故により、大量にまき散らされた放射性物質から、近隣各地で異常な放射線量が測定されています。ホットスポットも確認され、県内産の茶葉からも放射性物質が検出されるなど何が安全で、正しい情報

が何なのか不安が広がっています。

ます。

子どもを持つ多くの市民から、学校給食で使われる食材の産地や放射線量の公表が求められています。学校給食の食材は、お米がすべて地元産を使用し、地元で賄えるものは地元でという地産地消に取り組んでいます。

また、おじいちゃんがつつた野菜を孫に食べさせて安全かなど、切実な不安も訴えられています。

そこで学校給食と地元農産物の安心と安全をどのように確保していくのか伺います。

○教育長

本市の学校給食は大変おいしいとの声を多くいただいております。その市民の信頼を裏切らないため、そして、子どもたちの健康を守るため、食材の産地確認など情報収集に努め、安心安全でおいしい給食を継続していきます。

○市長

県の検査の結果、ほとんどの地元農産物から放射性物質は検出されず、心配ないと考えていますが、より安全のために必要な対策を進めます。

このほか

○地区ごとに児童館の設置を



日本一いきいきと  
老後を過ごせる街  
春日部について



岩谷 一弘  
議員

石川市長マニフェストについて以下3点質問いたします。  
①カラオケ・社交ダンスなどの交流の場の提供の支援  
②高齢者自らが運営し、教え・学ぶ生涯学習大学の創設について

③寿楽荘など高齢者利用施設の改修・充実について

福祉健康部長

高齢者利用施設におけるカラオケ機器は、平成21年度に庄和高齢者憩いの家を、今年度は幸楽荘の機器の更新を行いました。また、昨年度には、寿楽荘のカラオケ機器の修繕も実施しています。

高齢者利用施設の改修・充実では、平成22年度に大池憩いの家と寿楽荘で大規模な改修工事を行い、施設利用の質の堅持、適切な維持管理に努めています。また、幸楽荘や大池憩いの家でも空調の修繕を平成22年度に行い、大広間や多目的ホールで行われる踊

り、フラダンスなどのための快適な交流の場の確保、充実に努めました。

市長

生涯学習大学については、現在のふれあい大学・大学院を充実させるとともに、県のいきがい大学との連携を図りながら、体制の確立に努めていきます。今後も高齢者が安心して生き生きと生活できるように、敬老会を含め高齢者施策のさらなる充実を努めていきたいと考えています。

このほか

○春日部市新IT基幹システムについて

遊休（耕作放棄）農地で  
シルバー人材センターの力を  
生かす耕作について



武 幹也  
議員

遊休農地を改善するために、シルバー人材センターを活用している自治体があります。静岡県伊豆市のシルバー人材センターです。伊豆市のシルバー人材センターは、市の全面的な協力を受け、遊休農地を活用して野菜づくりの自主事業を展開しており、収穫さ

れた野菜は小中学校の給食用として出荷されています。また、利用されている遊休農地は地主さん等の協力により無償で貸与されています。

シルバー人材センター雇用対策として関係機関との協議を行うことにより、遊休農地の対策を進めてみてはいかがでしょうか。

農業委員会事務局長

遊休農地の耕作については、シルバー人材センター内の専門部会でも話題に上り、自主事業として検討を行っているところと聞いています。

遊休農地解消対策として、JA、土地改良区等の関係機関を含む春日部市の地域農業再生協議会との連携を図りながら、シルバー人材センターに対して働きかけていきます。

このほか  
○民生児童委員制度について  
○節電チェックリストについて

○市道2-41号線、県道春日部菖蒲線の振動対策とその他市道改修について

○埼玉県ネットアドバイザー制度について

○図書館及び小・中学校図書室におけるブックオーナーズ制度について

幸楽荘について



佐藤 一  
議員

幸楽荘は、近隣の高齢者に長きにわたり有効に活用されてきた施設です。

高齢者の憩いと安らぎの場として設置されている施設のため、より多くの方々に利用していただくことが大切と考えます。今後、より多くの方々に利用いただくための活用策について伺います。

また、老朽化により、将来的には建て替えが必要と考えます。建て替えの際には、幸松第二公民館と融合した多目的な複合施設として整備して、高齢者が知識や経験を生かせる取り組みを行い、他人から必要とされることで、生きがいを感じられるようにできないものか伺います。

福祉健康部長

幸楽荘では、介護予防、生活習慣病予防のための運動指導等を行う元気アップ教室を開催しており、今年度は地域包括支援センター主催で転倒

予防教室「楽らくジム」の開催を予定しています。利用者の方に喜ばれる事業を取り入れ、継続的に創意工夫を凝らし、新規利用者の掘り起こしや利用促進を図ります。

建て替えについては、幸楽荘が竣工された頃と比べ、社会情勢、価値観やニーズの多様化など状況が大きく変化していることから、高齢者施設のあり方などを中長期的な視点から十分研究していきます。

このほか

○社会教育の充実と教育委員会ホームページの活用について



高齢者福祉センター幸楽荘

## 春日部市の 節電対策について



英明 滝澤 議員

今年3月の東日本大震災の影響により約40年ぶりに政府から電気事業法に基づく電気使用制限令が発令されました。その結果、契約電力が500キロワット以上である大口需要家には15パーセントの節電が義務付けられました。

一般的に工場では多くの電力が使用されますが、市内には多くの工場が集まる豊野工業団地があります。今年の夏は、豊野工業団地でも節電の取り組みがなされてきたと思われませんが、豊野工業団地の電力の使用状況について伺います。また、市内の電力不足は夏の期間だけで終わる見込みは少なく、冬も電力不足に陥る可能性があります。

そこで、本市はどのような方法を用いて、市民の皆さまや事業者が節電の協力をお願いしていく予定なのか、合わせて伺います。  
○環境経済部長

豊野工業団地での電力使用状況ですが、豊野工業団地全体の最大使用電力は、昨年の7月が5517キロワット、今年の7月が4413キロワットであり、ピーク時で20パーセント削減されました。

また、冬の節電に対する市民の皆さまや事業者への周知方法ですが、市のホームページや昨今、情報伝達手段で注目をされているツイッターを有効活用することにより、節電への協力をお願いしたいと考えています。

このほか

### エリアメールなど 携帯電話を活用した 情報発信について



信司 栗原 議員

災害時には発信規制が行われ、携帯電話など電話やメールが使えづらくなります。その対策として、昨年12月に情報発信の補完的措置として公式ツイッターを開設すべきと訴え、本年3月に開始していただき、多くの市民の皆さまから喜びの声を頂きました。

## 緊急 消防 援助隊について



進 金子 議員

東日本大震災における被災地には、緊急消防援助隊として全国の消防本部などから多くの応援部隊が集結し、10万人を超える消防職員が現地に赴いたとことです。本市も緊急消防援助隊として派遣要請があり、活動したと聞いています。そこで今回の災害派遣状況について、また災害派遣活動において、今後、本市の災害対応にどのように役立つ体験があったのか伺います。

さらに、総務省の見解によると南関東地域直下型地震などの切迫性や、NBCテロによる災害などの危険性が懸念されていますが、このような地震や災害が起きたとき、人命救助活動が必要とする現場が多く発生することが予想されます。このようなときの消防の対応を伺います。

○消防長

このたびの震災では、本市から緊急消防援助隊として岩

手県と福島県を合わせまして延べ32日間、60名を派遣しました。より一層の救助技術の充実、強化と高度救助資機材の重要性を認識しました。

今後、懸念されている南関東地域直下型地震等の大規模災害が発生した際は、装備された資機材を最大限に活用し、他の消防機関から派遣される緊急消防援助隊など応援部隊と連携を図りながら、市民の生命を守り、被害を最小限に軽減したいと考えています。

このほか  
○一般廃棄物の放射能汚染状況について



被災地に赴いた消防職員（岩手県陸前高田市）



震災被害を支援する  
民間団体との  
協力体制について



中川 朗  
議員

東日本大震災の被災者に対し、さまざまな形で支援に取り組んでいる民間団体があります。今回のような広域で規模の大きい未曾有の災害復旧・復興のためには、自助努力には限界があります。公的な支援やともに支え合う共助を継続することが必要です。

本市にも被災地から多くの方々が避難され、開設された避難所では、多くのボランティアの支援があったと聞いています。そこで、こうした団体が持続的に、支援が続けられるような体制整備が必要と考えますが伺います。

○秘書広報防災担当部長  
団体の支援については、団体からの支援の申し入れや相談などがあった場合は、市内に避難している方に何を必要としているかなど、活動に必要な情報の提供をしています。今後も相談しやすい環境づくりに努め、積極的に支援して

いきます。  
○福祉健康部長  
災害支援等のボランティア

活動を支援するために、春日部市社会福祉協議会により、あしすと春日部のほか4カ所にボランティアセンターが設置されています。各センターではボランティア活動に興味のある方、活動してみたい方の相談を受け付けています。このほか

○シンクタンクについて  
○スクールヘルスリーダーについて

○共栄大学との連携による教育力のさらなる充実について



津波による被災地（岩手県宮古市）

今定例会の日程

8月24日

開会、議会基本条例策定特別委員長中間報告、議案第39号から議案第70号までの上程・説明、諮問第4号の上程・説明  
8月29・30日  
議案に対する質疑  
9月1・2日  
議案に対する質疑  
9月6・7日  
常任委員会  
9月9日  
総務委員長報告とそれに対する質疑、諮問第4号の討論・採決、一般質問  
9月12・14・16・20日  
一般質問  
9月21日  
全員協議会  
9月22日  
常任委員長報告とそれに対する質疑、各議案及び請願に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

・平成23年9月定例会運営について  
▽議会基本条例策定特別委員会  
7月21日  
・新たな取り組み事項に対するルール作りについて  
8月3日  
・（仮称）春日部市議会基本条例骨子の逐条解説について  
8月19日  
・（仮称）春日部市議会基本条例骨子の逐条解説について  
10月1日  
・（仮称）春日部市議会基本条例（骨子案）市民説明会（教育センター視聴覚ホール）  
10月8日  
・（仮称）春日部市議会基本条例（骨子案）市民説明会（庄和市民センター「正風館」会議室）  
▽図書室運営委員会  
9月26日  
・図書の購入について  
・図書の廃棄について  
・追録図書の停止について  
▽議会だより編集委員会  
9月26日  
・議会だより第25号の発行について

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会  
8月19日

次の定例会は  
11月28日(月)  
開会予定です

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。傍聴席は56席（車イス傍聴席2席含む）です。本会議は、通常午前10時から開催されます。

【おわびと訂正】

かすかべ議会だより第24号の中で、次のとおり誤りがありました。おわびして訂正します。

15ページ、当市への視察状況（平成22年度）5月12日の視察内容  
訂正：ご当地体操（介護予防「そらまめ体操」）の取り組みについて  
誤：ご当地体操（介護予防「それまめ体操」）の取り組みについて

市議会ホームページの案内

市議会のホームページでは、議員名簿、会議日程、一般質問発言通告一覧表などを掲載しています。

また、会議録の閲覧・検索や、インターネットによる本会議生中継・録画中継で、議会の様子をご覧いただけます。

春日部市議会

検索

10月5日  
・議会だより第25号の発行について